

## 山梨マスターズが初の日本一に輝く！ JFA 第 22 回全日本 O-50 サッカー大会

2023 年 06 月 27 日



JFA 第 22 回全日本 O-50 サッカー大会は 6 月 26 日(月)、大会最終日を行い、山梨マスターズ(関東 3/山梨)が初の日本一に輝きました。

準決勝は、2 試合とも接戦となりました。ニコルス FC シニア(関西/大阪)は、前半に自陣からの素早い攻撃で先制。羅針盤倶楽部 NAGOYA(東海/愛知)の攻撃をしのぎ切り、1-0 で勝利しました。前回 4 強同士の FC 船橋(関東 4/千葉)と山梨マスターズの対戦は、0-0 のまま試合が進み、PK 戦へと突入。GK 丸山孝選手のセーブもあり、山梨マスターズが決勝進出を勝ち取りました。

ニコルスと山梨による決勝は、開始 1 分で動きました。左サイドで縦パスに抜け出した山梨 FW 若菜隆選手が、そのままゴール前まで持ち込みます。さらには自らシュートを決めて、先制点をもたらしました。

後方からつないでプレーを組み立てる山梨に対して、ニコルスは球際で力強い守備からの反撃を狙います。前半半ばには早くも選手交代するなど反撃の姿勢を強め、相手ゴールに近づく場面が増えた 18 分、山梨 GK が処理しきれなかったクロスを荻堂博行選手が蹴り込み、試合を振り出しに戻しました。

前半のうちに次のゴールが生まれました。前半アディショナルタイム、山梨の平野政樹選手がニコルスゴール前に出沒。それまでも正確なパスを繰り返していた左足で、ゴールネットを揺らしました。

後半半ばにも、平野選手がスペースハワンタッチで送ったパスからチャンスが広がり、最後は若菜選手が GK もかわして 2 ゴール目。次々と選手を入れ替え、ゴール前にも人数をかけるニコルスに対して、DF も連続シュートに体を張って守るなど、山梨の集中は途切れませんでした。最後まで自分たちのペースを崩さず、山梨が初優勝を勝ち取りました。

## 監督・選手コメント

---

### 藤田幸雄 監督(山梨マスターズ)

去年準決勝で敗れてから、自分たちのサッカーを完成形に近づけるため、個々の能力を伸ばしながらコミュニケーションを取り合って、チームの全体的な底上げに1年間取り組んできました。1次ラウンドでは苦しみましたが、その分、開き直りました。決勝の相手はここまで無失点でしたが、まずは自分たちのゲームをして、その結果として勝とうという共通理解を持って臨みました。1度優勝しただけでは、たまたまだったと言われてしまいますから、来年も良い思いをするために、おごることなく1年間サッカーに取り組んでいきます。

### 古屋成生 選手(山梨マスターズ)

うちは全員サッカーなので、出ている11人が出ているメンバーのためにも頑張りました。O-40で1度3位になり、昨年も準決勝で負けました。それでもサッカーを続けてきたのは、やはり日本一への思いが強いからです。ずっと日本一を目標に頑張ってきたので、うれしくてうれしくて、たまらないですね。目標を一つクリアしたので、次はO-50で最近生まれていない連覇を狙います。2連覇したら、3連覇を目指します。挑戦を続けていきたいです。